

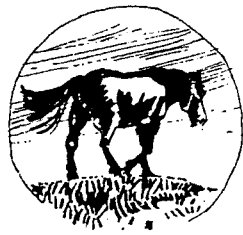
# 禅僧の修行を見て

日曜日の朝、NHKテレビ『心の時代』で禅僧の様子を垣間見た。それは、この一見平和平穏な時代にあって、すさまじい一言に尽きる。現代の若者の中にそんなにしてまで禅を求めるものがあるのは不思議な気さえする。

参禅の若者は、修行僧として寺に入門を許されるまでの『しきたり』を既に知っているという。玄関にて「お頼み申す」と声を発してから、入門許可までの数日間、玄関の式台にただ抵頭して身じろぎもしないこと、さらに、いわゆる玄関払いをくってから数日間、外の地べたに這いつくばって抵頭していること、そういう一種の『しきたり』を経て、初めて道場の寺内に入れられること、こういうことをあらかじめ覚悟して門をたたくのだという。

私が深く感じたのは、そういう覚悟の上であっても、その若者はたちまちにして数々の迷いが湧くということだ。  
「自分は何でこんな馬鹿馬鹿しいことをしなくてはならないのか」とか、「こんな無駄なことをしていて何になるというのか」とかの疑問である。そして、「自分は今朝、自分の師の僧にわらじの紐を結んでもらって『この紐はめったなことではほどくなよ』と足をボ

ンとたたかれ、『はい、入門が許されるまでは決して紐は解きません』と誓ってきたばかりではないか。それからまだ数時間しかたっていないのに、やれ腰が痛いとか、身体がだるいとか、そんな泣きごとを言っていて、『いっせ、こんな無駄なこと、やめてやろうか』などと思いが湧いて出る。ああ、自分など、何と意志の弱いことか、自分の覚悟などは何という情けないことか。



生意気に『意志だ』『覚悟だ』などといえたものではない。と自分の意志の弱さ、だらしなさを見せつけられるのだそうである。そしてこの体験こそ修行の第一歩だという。

「修行とは自分の馬鹿さ加減、アホさ加減がわかることだ」と禅宗ではいうそうだが、この『わかる』とはアタマでわかるのではなく、身体全体で感じるものでなければ本物でないというのである。

そして若者はこの修行を通して「信じるとは疑わないこと」ということが身にしてみわかるのだという。「信じるとは疑わないこと」…文字にすれば、『信ずる』と『疑わない』と言い換えただけのことである。例え、自分が実際に体験して見ると、これが恐ろしい言葉だと『わかる』のだそうである。例えば、老師が「弟子にしてくれというが、お前は、わしを信じるか」と聞くから、「信じます」と答える。「よし、それなら、わしと一緒に掃除しろ」となって一日中庭掃除をしている。

若者は、落ち葉を掃き集め、老師に「これをどこへ捨てますか」と聞く。老師は「捨てるものはあらへん」と言う。枯れ葉を集めておくだけでいいのか、わからないから「捨てるものはないとは、どういう意味ですか」と聞くと、いきなり殴られた。「お前は、わしを信ずると言うたではないか、わけがわからないから尋ねるなどというのは、わしを信じておらんことだ」と怒鳴られる。そして怒鳴っておいてから「落ち葉を集めて風呂吹き場へ持って行け」と言われる。若い見習い僧は黙ってそれを風呂吹きの下へ持って行く。

「よし、木の葉は乾かして、燃やせ」そう言われて釜戸にくべる。燃料にするのである。燃えた灰は丁寧に集めて煙に撒く。次に煙の小石を丹念に集めて窪地へ持って行き、地ならしする。こんな作業を通して、どんなものでも「捨てるものはない」「無駄というものはない」「どんなものでも生かすところで生かす」ということを体験的に知らされていくのだそうである。信じるということとは疑問を持たないこと、このことを徹底してたたきこまれる。その中で、ほんとうに信ずることは、

とてつもなく困難なことだと実感するのだと…このようなテレビの映像であった。

私は、このテレビを見て自分の心を見つめ直す、そんな余裕が大切であると痛感した。  
進んだ現代社会の中で、もう一度原点に帰り、人の心の痛み、物の大切さを今の子供達に体験学習を通して学んでもらいたい一人です。

## 能力開発講座



商家資料館から  
昨年4月29日のオープン以来約11ヵ月になります。  
当資料館は、大正時代の建築ですばらしい素材とともに、珍しい様式が採用されています。また、館内の見学により、小学校の郷土学習をはじめ、成人に至る市民各位の郷土の昔に触れるよい機会であると思えます。皆さんの来館をお待ちしています。  
開館日は、火・木・土・日曜日と国民の祝祭日の午前10時から午後4時までです。  
所在地 上谷3丁目1番20号 ☎(43) 9416

- 仕事の教え方(管理監督者課程)
    - 日程 5月9、10、11、12、13日
    - 時間 午後6時～8時
    - 定員 10人 受講料10000円
  - 人の扱い方(管理監督者課程)
    - 日程 5月30日、31日
    - 6月1、2、3日
    - 時間 午後6時～8時
    - 定員 10人 受講料10000円
  - 第二種電気工事士筆記試験準備講座
    - 日程 5月9、10、12、13、16、17、19、20、23、24、26、27、30、31日 6月2、3日
    - 日の16日間
    - 時間 午後6時～8時50分
    - 定員 15人 受講料40000円
- 受付期間 各講座とも開講日の7日前まで、ただし、定員になれば締め切りです。
- 問合せ先 県立都留能力開発センター  
☎(43) 8911